

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年度末に作成した事業所の理念、今年度の目標を職員の目のつく場所に掲示し共有を行った。個人での確認や浸透はできていると考えるが、全体で確認、評価には至っていない点が課題として残る。			全体で確認・評価に至っていない理由は何ですか？ Ans. (今期中途での管理者交代や職員の離職もあり、ホーム全体での共有ということよりも個々のできる範囲での意義の確認に重点を置いたのが一因でしょうか)
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	町内会には加入していないが、朝倉小学校区内連携協議会に加入しており、10月定期総会に参加。管理者の年度途中の交代もあり、地域の方とも新たな関係性の構築において活動した。職員は毎月配布される地域広報誌や、交番新聞、新聞、テレビ等で地域の情報を得て、利用者様に地域の話や様子などをお伝えしている。認知症ケアについては運営推進会議の中での発言や共有に留まっており、事業所発信の研修や交流会の実施には至っていない。	米田地区民生委員より、地域小学校区のイベント案内や協力体制のご案内を頂いた。朝倉防災会の会長からは朝倉地区の防災イベントや施設での避難訓練への人員の派遣を提案頂いた。		コロナも5類に移行しているので、今後少しずつ、地域住民との関わりを増やしていただければ良いと思います。日々お忙しい中で大変だと思いますが、管理者の持つ認知症に関する知識や経験を地域の方へ共有して頂ければきっと喜ばれると思います
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議でのご意見に対しては議事録の回覧にて全職員に周知している。また対応の協議については各ユニット会にて実施している。	運営推進会議開催時には事前に出席確認を行い、当日事業所の報告書を配布。後日議事録の配布を実施した。		充分に出来ていると思います。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村の担当の方へ参加依頼を行い参加して頂いている。感染対策時オンラインでの開催にも協力頂いた。	高知市介護保険課事業係の方に参加頂き、ケアサービスについてのアドバイスや質問を受けた。さらに担当者の方より業務継続計画(BCP)の訓練について具体的なアドバイスを頂いた。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない	身体拘束・高齢者虐待委員会が中心となり研修を実施し職員への指導・啓発を実施している。動画での研修素材も取り入れ、より現場対応時		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない	身体拘束をしないように、研修の実施や職員の指導を徹底している様子がうかがえます。 今後も職員さんへの指導・啓発を継続

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
		り組んでいる	D. ほとんどできていない	の「気づき」に力を入れ取り組んでいる。具体的なケア提供時の振り返りには毎月のユニット会時に個別利用者ケースやヒヤリハット等よりテーマ抽出を行い協議し、身体拘束ゼロに向けたケアに取り組んでいる。		D. ほとんどできていない	し、身体拘束ゼロに向けたケアに取り組んで頂きたいと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について法人研修や、動画研修等で学びを深め、学んだ内容をユニット会やケアカンファレンスでの場面で発揮できるように意見交換に努めた。2F・3Fともに言葉によるスピーチロックの可能性を感じる場面を経験しており、職員自身のマネジメントも含めて虐待の芽に気づくことのできる現場作りに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待の芽に気づくことができる現場作りに取り組んでいただいておりますが、気づかれた際にはどうしてそういう状況になるのか原因に目を向けた対策を検討してもらえたらと思います。 「ほぼできている」とした理由は何ですか？ Ans.ホーム内ではもちろん虐待はありませんが、日々の生活を利用者の方と24時間、365日ともにする中で、自分たちが行っている介護が本当にその方、その時に適していたのかを振り返る戒めとして評価しております。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業・成年後見制度ともに研修への参加にて理解を深める活動はできていない。施設内でのミーティングの中で特定の職員との意見交換はあるが、すべての職員への理解や活用を求める動きはできていない。近年はホーム入居者にも生活保護受給の方や成年後見制度が活用されている方もいらっしゃるもので、関わりの機会を通じて今後の学びにつなげてゆきたい。			成年後見サポートセンター等も出前講座をしているので相談すれば来てくれるかもしれませんが。 制度自体を知っていないといざご相談があったときに適切な案内ができないので、まずは知ることから職員全体で取り組んでいただけたらと思います。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結、解約また改定等の際は、コロナ5類以降は対面で時間をかけての対応ができています。世界情勢の急変による為替変動もあり、取り扱う商品によっては価格調整を余儀なくされたものもあり、時間的余裕は			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				十分ではなかったかもしれないが、書面での通達や電話での説明はできていた。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族等から意見、要望を引き出すために玄関にご意見箱を設置し、無記名で投函して頂けるように努めている。新規入居のご家族様へのご案内が十分ではない可能性と設置場所がややわかりにくいとため今後、掲示や定期的なアナウンスを実施する必要性がある。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の要望をお聞きするために、意見箱の設置をしている点は良いと思います。意見箱の場所の設定や、意見があった際の返答方法についても今後、内容を詰めていけると良いと思います。意見箱にはどういった投函があったのか機会があれば教えて頂きたい。ご意見箱の活用はなされていますか？またご意見箱ならではの意見など出ていますか？ Ans.ご意見箱の設置はできていますが、今期ご意見の投稿はなく、主に直接ご意見を頂くことが多いです。しかしながら今後も直接はお話しにくいご意見を頂けるようにご意見箱のアナウンスや活用への工夫を模索致します。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の運営や大事な決定事項に関して、紙面での通達や管理者より直接の説明により職員への周知・理解に努めている。今季途中での管理者変更もあり、職員にも戸惑いが見られた場面もあったが、現在では職員の意見や提案を日々の業務の中から抽出しフィードバックへつなげることができている。			職員の方も自身の意見や提案が実際のサービス提供などに活用されれば仕事への意欲がさらに向上すると思います。引き続き継続して頂きたいです。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。今期中盤からは「チームビルディング」を意識し職員間での関係性の強化にも		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部的な実情に関しては、わかりませんが、お会いする職員さんは、皆丁寧で優しく、いきいきと働いている印象の為、働きやすい環境になっているのではないかと感じています。「チームビルディング」についてどういふものでどういった効果があるのか教えて

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				取り組んでいる。			もりたいです。 効果は見られていますか？ Ans.効果として挙げられるものとして、職員個々が持っている趣味活動をホーム内の活動に活かすことが可能となった。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ5類以降にもクラスターを2回経験したこともあり、外部研修への参加はできていない状況にある。しかし内部研修に関しては動画視聴を利用した研修やアンケートや課題シートを使用した研修を通じて必要な知識・技術・態度の獲得を目指したトレーニングが実施されている。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナのクラスター等もあり、外部研修の参加は難しい状況であったと思います。その中でも、内部での研修を定期的に行っていたことは素晴らしいと思います。制限のある中で工夫して研修を受ける機会を確保していると感じました。 4月より年度も変わり新人研修なども研修センターのHPを確認すればあると思うのでコロナ・インフルエンザが落ち着いていたら参加してはいかがでしょうか。 職員一人ひとりの能力についてはどのような形で把握していますか？ Ans.まずは管理者が職員個別に対話し信頼関係を高め、日々の業務報告や業務内容について気付いた点について注意・指摘するのではなく、「このような方法・手法もあるがやってみませんか？」という提案を重ね、実際に行動してもらった内容から個々の現在の能力や成長できるストロングポイントを探している。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の質の確保のために、高知県グループホーム連絡会へ参加しているが、主だった活動への参加はコロナ5類になった後もできていない。法人内の同事業者とはオンラインにて会議を実施し交流や意見交換を実施しているが、職員レベルでの交流には繋がっていないのが現状である。			感染症もまだ流行しているもの今後何か交流する機会を設けられる予定はありますか？ Ans.近隣地域にある同じグループホームの運営推進会議への参加を検討中です。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の場としてホーム、利用者をひとりの人として捉えることを日々意識して関係づくりに取り組んでいる。その中でもコロナ感染への対応は5類以降も考え、悩むことが多かったと感じている。高齢化や重度化も進む中でグループホームでの関わり方を利用者とともに模索している段階である。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ5類以降は面会も実施できているが、季節性の感染症へのリスクや5類以降のクラスター経験もあり、まだ家族様や地域を巻き込んだ関係継続の場面は提供できていない。しかし施設内での活動は少しずつではあるが活気づいてきている。家族様とのつながりの一環であるお手紙も継続しておりホームでの日常の発信はできている。	地域交流については外出の提案や以前まで開催できていた施設開催のサロンや夏祭り等のイベントの開催検討を参加者より頂いた。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様がその人らしく暮らし続けるために、出来るだけ思いや希望を、職員は利用者様の性格や、認知機能、身体能力に関心を持ち、日々の変化に合わせて把握しようと努めている。毎月のユニット会では利用者個々に「気づき」を挙げて職員間で共有・議論することで表出されにくい思いや意向をくみ取るように努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。担当者が、毎月モニタリングを行ってお	ケアプランについて詳細な言及はなかったが、アイデアとしての意見を多くいただいた。具体的にはレクリエーション活動や外出イベントについてである。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議でお話を聞く中では、一つ一つのケアを丁寧に行い、課題についても迅速に検討をして、改善に努めていると思います。引き続き、利用者さんが安心して暮らせるようなケアや施設運営をお願いします。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				り、プラン更新月には意見を聞き支援内容の変更などを話し合っている。			本人様がよりよく暮らすために話し合い工夫されていると感じました
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫はケアプランを基に個別記録に記入し、特に重要な内容については職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 またリスクマネジメントの観点から個別に潜在するリスクレベルに応じてリスク状況の説明を実施し、介護計画への反映を検討している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別の記録について、見る機会はありませんが、運営推進会議の記録をみる限り、適切に情報共有や取組みが出来ていると思います。 日々の様子やケアについて職員さん間で情報共有し計画を見直しされていることがわかりました。リスクマネジメントの視点を持たれていると感じました。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前デイサービスにて実施していた創作活動はご家族様の協力依頼を行い、本人が望む創作を継続している。高齢化・重度化もあり以前よりも個別の体調管理に留意が必要になっており、他科受診の調整や送迎に支援などを実施しホームでの生活がより安心したものになるように取り組んでいる。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に参加して頂いているメンバー様より地域資源についての情報提供は頂いているが、ボランティアの受け入れや地域社会への活動参加には至っていない。	地域活動への利用者の参加には感染症のリスクが存在していることを会議参加者と共有し再確認する場面が多かった。ただ今後の課題として少しずつでも活動・参加をという意見で方向性はまとまった。		コロナウィルスの5類移行後、少しずつボランティア希望の方も増えてきている為、ボランティアさんの要望に応じて、またお繋ぎをさせて頂ければと思います。よろしくお願ひします。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	訪問診療にて得られた情報を家族様と定期的に共有することで、かかりつけ医との連携・協働に努めている。日々の生活場面での医療相談もスムーズに実施でき、急変時の救急対応や看取りケアへの連携も必要な支援が提供できている。			以前運営推進会議にて実際にあった看取り事例をお聞きし最期まで安心して過ごせるグループホームだなど思いました。今後も本人・家族に寄り添ったケアに取り組んで頂きたいです。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院した際の対応として、必要書類の受け渡しや荷物準備、かかりつけ医からの医療情報提供の確認等について速やかに対応している。退院時支援については病院の連携室協働し、早期退院に向けた調整に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	クラスターが発生した際は、入退院の調整や事務手続きは大変だったと思います。引き続き、病院関係者との関係性や上手く協働する事を意識して、施設運営をして頂ければと思います。入退院時の連携対応をよくしてくださっていると感じます
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化・終末期については入居契約時より指針の説明・同意を実施し、実際に終末期にあるとかかりつけ医が判断した際に再度、具体的な終末期対応について説明・同意を頂いている。今期では成年後見制度を利用されている方の「看取り」を経験し、死後の手続きの場面でも事業所としてサポートするにはどうすればよいのかを成年後見人の方と協議させて頂いた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に終末期について、希望を聴取していくことは大切だと考えます。また、入所後にも、本人や家族の想いが移り変わることもあると思うので、ご家族との定期的な想いの共有をしていって頂ければと思います。ケースを通じて重度化・終末期に向けた支援のありかたを協議されたことでよい経験となられたことと思います。今後の支援に活かして頂きたいと思います。様々なケースがあり大変だとは思いますがよりよいサービスに向かわれていらっしゃると思いました。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応(消防への連絡)等に加えて、AED研修を継続して行えるよう計画し、参加した研修を活かし職員全員が臨機応変に対応できるよう取り組んでいる。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難確保計画と業務継続計(BCP)、防災マニュアルについての確認を実施し、内容について再検討を実施した。また「一人防災訓練」として事業所にある必要備品がどこにあるか等の確認を行うことで職員個々の防災力の向上に努めている。定期防災訓練では朝倉連合防災会の方に訓練参加して頂き、アドバイス	朝倉防災会のメンバーより実際の避難行動における実践的なアドバイスを頂いた。また高知市や他の事業所の方々とは業務継続計画(BCP)について今後どのように運用するのか意見交換がなされた。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域と連携を取りながら、十分に災害対策に取り組んでいると思います。災害は、いつ発生するか予測がつかないので、引き続き、利用者や職員が安全に避難できる方法について検討して頂ければと思います。地域と連携し災害対策を検討していることがわかりました。避難訓練等を重ね、適宜BCPの修正をして頂けたらと思います

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				を頂く等地域と協力体制を築いている。			す。 防災に関しては地域としっかりと連携されていて素晴らしいと思います。マニュアルを作成するだけでなく職員一人ひとりが理解し実践できることが大事なので「一人防災訓練」もよい取り組みだと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を心掛けている。近年では価値観の多様化もあり「プライバシー」についての受け取り方にも変化が見られていることを考慮し、福祉施設におけるプライバシー保護について研修を実施し理解を深めている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシーの確保は、集団生活を行う中で、生活の質に大きく関わってくる内容だと思っています。引き続き研修や勉強会を通して、職員間での意識向上をお願いいたします。 プライバシーに配慮した対応を、今後もお願いしたいと思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2階は職員が利用者の日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、出来る事を理解しながら、一人で出来ない事等は一緒に参加できるよう取り組んでいる。3階は利用者の生活のリズムやペースを崩すことがないように、取り組んでいる。業務優先についてはユニット会でも取り上げ、ひとつの「ケア」においても誰のためのものであるのか、そして「今」提供する意義を考えるように問題提起し振り返りをしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ5類以降も感染対策として同席・対面での食事はできるだけ避けている現状ではあるが、季節のおやつ作り、敬老やクリスマス等、イベント日の食事については職員と利用者が共に楽しんで食事ができるよう工夫している。日々の場面では個別性を考慮し必要な準備や後片付けを依		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節のイベントや行事に合わせて、食事のメニューや内容を検討している点は素晴らしいと感じます。コロナ対応で制限もある状況かとは思いますが、利用者さんの声も食事に反映をさせながら、今以上に何が出来るか考えていって頂ければと思います。 施設の中ですが、季節を感じられるよう

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				頼し実施して頂いている。			工夫されていることが理解できました。ご利用者が可能な範囲で準備・後片付けに参加されることは自立支援の観点から重要なことだと思います。以前の運営推進会議で「特別食は利用者」と話し合っメニューを決定している」とお聞きしました利用者の自主性も活かしながら取り組まれているのはとても良いと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の食事場面においては個別の特性や疾患に応じた食事量や形態での提供に努めている。看取り期に入られる利用者には好みの味や食べ物を無理なく適量食べることができるよう支援を実施している。水分量についてはひとりひとりの必要量を確認し安全に摂取できるように形態や味に工夫を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけご自身での口腔ケアを実施できるように支援しているが、仕上げ磨きや義歯の管理等、必要なケアについては職員が付き添い実施している。個別の状態に応じて家族様と相談し歯科医との連携により専門的なサービスの提供や日常の口腔ケア指導を受けている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔内の清潔管理は誤嚥性肺炎の予防に大きな影響を及ぼすと言われています。個別の状況に応じて、歯科医と連携をしている点は、素晴らしいと思いますので、引き続き連携をお願いいたします。口腔ケアに留意されていると思いますので今後も継続して頂きたいです。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立におけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄パターン把握のため、毎月のユニット会にて個別の排泄状況を確認・共有し対応している。トイレでの排泄については移乗時や立位保持、方向転換時等、荷重移動の際の骨折リスクを検討し必要な人員での支援に努めている。便秘予防についてはかかりつけ医と連携し薬剤の調整等必要な処置を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の自立支援は、本人の尊厳の保持や生活の質の向上に大きく関わっていると思います。中々、人員体制も厳しい状況もあると思いますが、福祉用具の検討やより良い排泄も考えながら、質の向上を目指して頂ければと思います。排泄の自立支援に向けた取り組みができていていると思います。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回の入浴周期をベースに本人様の希望やタイミングに応じて可能な限りの対応を実施している。冬季において身体機能的に浴槽への入浴が難しくなっている利用者についても、足浴やかけ湯を調整ししっかりと暖まれる工夫をしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望する場所を職員が聞き取りし、落ち着ける場所での休息を支援している。ソファやテーブル席、日当たりや臨席する方等の環境調整については日々のケア場面での「気づき」をユニット会にて集約し、個別の状況にあわせた支援となるように取り組んでいる。安眠については精神的な支援も含め、職員側が考える価値観の押し付けとならないように配慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬についてはマニュアルの見直しを実施し、職員の配置によって確認方法を選択できるようにしている。またリスクマネジメント教育場面において人為的なミスは完全に防ぐことは困難であることを意識づけ、利用者個別の薬剤状況の把握や服薬できなかった場合の対応等をスムーズに実施できるようにかかりつけ医と連携し対応している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬に関しては、本人の身体状況や体調に大きく関わってくるものだと思います。利用者さんの体調や睡眠状況、薬の効き状況に応じて医療面と連携をしながらより適切な服薬支援をお願いします。また、内服事故(飲み忘れ、服薬の遅れ等)に関しても、命に直結してくる方もいると思うので、事故が発生しないような仕組み作りや意識合わせを今後ともお願いします。 誤薬は介護事故の中で多い事項だと思いますが、少しでも減らす努力を今後もしていってほしいです。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴からのアプローチを深めるため職員は家族様との連絡時に好みや嗜好をできるだけ確認するようにしている。また家族様も知ることのなかった新しい発見の可能性もあることを	利用者家族との面会についての意見交換がされることが多く、感染状況に応じてできるかぎり面会して頂いている方向については参加者にも一定の評価は頂いた。		コロナの感染症流行により、利用者さんがGH内で過ごす時間が増えていると思います。その中で、日々の余暇時間に何をしてお過ごししていくかは、本人の生きがいや生活の質、廃用症候群の予防等に関

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				意識し、チャレンジ精神をもって「楽しみ」ごとを提供するように努めている。			わってくると思うので、本人の希望に沿いながらの支援を継続してお願いします。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	企画しての外出の実施は今期もできていない。利用者の要望に応じた散歩や家族との外出支援には少しづつではあるが提供できている。地域での外出機会の創出として法人単位でのイベント(納涼祭等)の企画が今後求められる部分ではないかと感じている。	実際には外出支援が行き届いていない現状を確認し、その上での改善案を参加者より頂いた。民生委員からは地域開催のお祭り等への参加検討についてアドバイス頂いた。		感染症等のリスクもあり、外出は中々難しい状況かと思います。可能な範囲で、少しずつ日常的な外出支援に関しても進めて頂ければと思います。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に現金を家族様よりお預かりし必要な時に使用できるように支援している。実際に購入にでかける際には支払いをする機会設けることで支援につなげている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話を所持されている方については操作等について支援し、いつでも家族様と連絡できるように対応している。所持されていない方についても必要であれば電話をお繋ぎし直接声も聴いていただけるように対応している。手紙については毎月の定期便に同封する支援を行っている。			毎月手紙交換できるのはご利用者さん、ご家族様、両者にとって嬉しいことと思います。会えなくても両者にとって良い刺激になっているのだと感じました。
39	居心地のよい共有空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共有の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人様の能力や嗜好に応じた居室レイアウトを家族様とともに検討し実施している。個人の状況によっては十分な備品が準備できない場合もあり、ホームにある共有備品を使用し出来る限り落ち着ける空間づくりへの工夫を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居心地の良い雰囲気づくりは充分出来ていると思います。ホームの雰囲気としても、落ち着いていて過ごしやすいものと感じ、季節の行事等も積極的に実施しており、素晴らしいと思います。限られた空間の中で工夫されていると思います。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	18名11中名が出来ていると回答を頂いた。傾向として発語が困難になり会話での意思確認が必要な方についてできていないと評価する傾向にあった。今後、重度化や看取りでの対応が増えてゆく中で、そのような状況に置かれている方の意思をどのようにくみ取り支援につなげてゆくのが問われている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「自身のお部屋があるので十分できている」回答される利用者の方もおり満足度の感じ方には大いに差があるものと感じる。ケアにどこまで取り入れることができるかは未知数ではあるが、ひとりでも多くの方に満足感を与えられるように努めたい。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	連携する医療クリニック、看護小規模多機能あさくらからの訪問看護と医療的な対応は個別の状況に応じて十分に対応できている。利用者においても対応する、かかりつけ医や看護師との関係性もできており緊急時や看取り期への対応もスムーズである。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己評価にもあるように、多様な関係機関と連携して、個別的なケアが充分に出来ていると思います。 医療との連携が取り組みやすい体制を活かすことができていると思います。 対応がスムーズだと思われた。具体的な例はございますか？ Ans. 具体例としては血糖値のコントロールにてHbA1cの値が医療より高値である利用者に年齢や今後の生活状況も鑑みて主治医より看取りの方向が家族へと提案され看取り介護の同意を得ることになった。その後下肢（足指）に血流不全と創傷が悪化した際には主治医の紹介により専門科への受診につなげ、その後の治療・処置についてもクリニック、訪問看護、介護職員とが連携して対応にあたることができています。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述		
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	すべて自分のペースでという視点で見ると十分ではない面も多くあるが、個別の状況を考慮した際にはできている面も多いのではないかと評価になっている。認知症という疾患を抱えているという観点からみると単純に今までの習慣の継続よりも、現状に応じた習慣の再獲得に向けての支援が求められていると感じる。					
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームをご自宅として様々ななじみの品物を持ち込まれている方も多く、しかし反面なじみのものを認識できていない方もおり、家族様と協働してひつような「しつらえ」を整えてゆくことが求められている。				A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※居室内部の状況を見たことがない為、未評価。 ご本人、ご家族様とともになじみのものに囲まれた環境づくりをされていると感じた。 「しつらえ」とは例えばどんなものを想定されていますか？ Ans.「しつらえ」については基本的には「空間や部屋の演出方法」として捉えています。古くは神棚へのお供えを飾り付ける作法としての「設え」がありますが、認知症を抱える利用者様のお気持ちが少しでも整うものであれば、「馴染みのもの」という物にだけ囚われるのではなく音や光、匂いなども提供できる「しつらえ」であると考えています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族様との外出については少しづつではあるが実施できている。ただ本人の自由意思での外出支援には至っていない場面が多い。ただ背景として挙げられる感染症対応についてのケア現場の困難さを考えると、5類以降の対応が鈍くなっているのにも理解できる部分がある。組織として大きく舵を切ることと家族様との連携が現状打破には不可欠であると感じる。				本人の希望によって戸外にでかけることに対してと利用者個々に持たれている認知症の状況について参加者に説明する場面が見られた。夏場以降からは対象は限定的ではあるが、職員と一緒に戸外へ散策や買い物に行くことができている利用者もいることをお伝えした。	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯物干し量や、食器洗いを交代で手伝って頂く、料理の盛り付けのお手伝い等、個別のできることを行うことができています。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話場面が増えるとプラスの評価になりやすいが、そうではない方（会話が難しい方）についても得ることができているものもあり、職員側の実感があまりない傾向である。重度化・高齢化による影響が十分にあると考えられるが「日々の暮らしで得ることのできるもの」について職員間で今後協議してゆきたい。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※利用者様との関わりが殆どない為、未記入とします。 「職員さんの実感があまりない傾向」とのことですが、ご本人様は「いきいきと会話のひととき」を持つことができていますのであれば、そのギャップはどうして生じるのでしょうか？ご本人様が持つ力の活用について何か働きかけ成果がありましたら、また教えて頂きたいです。 「会話が難しい方から得られているプラスの評価」とは例えばどんなものですか？ Ans. プラスの評価についてはケアを通じて感じる感覚の部分が大きく、わかりやすい表現だと表情や呼吸になります。感覚に依存する部分でもあるために職員もどう評価という客観的なものに繋がらよいかかわからないというのが正直なところです。直接「触れている」からこそ感じるものがケアを通じて職員と利用者との間で交換されていること、その活動の中で「ゆらいている」ものが存在することを意識下に置くことで伝えることができる安寧を今後も職員と一体となつてかんがえてゆきたいと思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	5類以降も感染対策によって地域・近隣との交流はできていない。直接の交流機会を設けることだけでなく、新しい取り組みを創出することが求められており、「感染対策だから」と諦めることなく今後は行動することが	地域交流の前に家族との交流にコロナ禍においては課題があったため、感染症の動向と今後の展開について意見交換を行う場面が多かった。		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
				求められる。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「聞きなれた声」「聴きなれた音」の中で生活をしているので十分にできていると評価した職員の声がある。生活の充足感は個人の価値観の多様さに比例するが、「今」あるこの「環境」に適応し満足感を提供できる支援が最も求められる部分だと痛感した。今後のホームの在り方は変化こそすれ、「人」が求める安寧には決して動かない「人」との関わりがあると信じケアの創出に取り組みたい。	運営推進会議の中心にいるのは、このホームで生活されている利用者であることを再確認する年度になった、眼前の対応に追われがちな部分は否めなく、その対応も十分に必要なものであるという実感も同時に得ることができた。ただ会議参加者から頂いている大きな支援を対象である利用者へどのように繋ぎ、手渡してゆくのか、来期はそのことを重点的に追及してゆきたい。	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での報告や、職員さんのお話を聞く限りは、利用者さんのために、様々な工夫や取り組みを実施されていることが伺えます。コロナの感染症対策や、人員の問題等、大変なことも多いと思いますが、様々な関係機関と連携しながら、利用者さんのために今後も頑張ってもらえればと思います。 今の環境が安心満足して日々を送ることができるように考えてくださっていることがわかりました。